

SAMPLE

特集レポート No. 056

プラットフォーム企業による モバイルペイメントの展開事例

Strictly Confidential



2017年 6月28日

はじめに

- モバイルデバイスの普及と利用頻度の増加にともない、クレジットカードや電子マネーの機能がモバイルデバイスに移行し、ペイメント市場は更なる活況を呈している
- 成長市場を捉えるべく、モバイルデバイスだけでなく広告や通信キャリア、鉄道インフラなどの関連大手企業が相次いで同市場に参入している。それぞれの参入の思惑により競争は熾烈さを増し、顧客接点を奪い合う競争に至っている
- 本レポートでは、モバイルペイメントに参入する大手企業の決済サービスの展開事例を紹介することで、モバイルペイメントの業界動向を理解する一助としたい

本資料の流れ



I. モバイルペイメントとは

II. 参入各社のモバイルペイメントの展開事例

モバイルペイメントとは

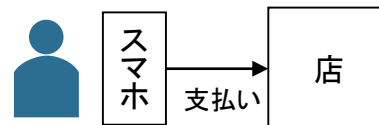
- モバイルペイメントとは、携帯電話を介しておこなわれる決済のこと
 - スマホアプリにクレジットカード情報を登録することで、スマホをクレジットカードの代わりにするサービス

モバイルペイメントの
定義
(米連邦準備制度理事会)

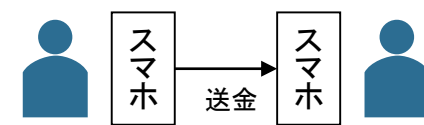
- 携帯電話を用いておこなわれる購入、請求支払、寄付、他者への支払い及びその他の支払処理
- 消費者はモバイルデバイス搭載のウェブブラウザでダウンロードしたアプリケーションを使ってモバイルペイメント処理をおこなうことができ、支払い金額の決済は、電話料金に加算されたり、クレジットカードに課金されたり、銀行口座から引き落とされたりする

モバイルペイメントの
代表例

- 通常の買い物時にスマホ支払い



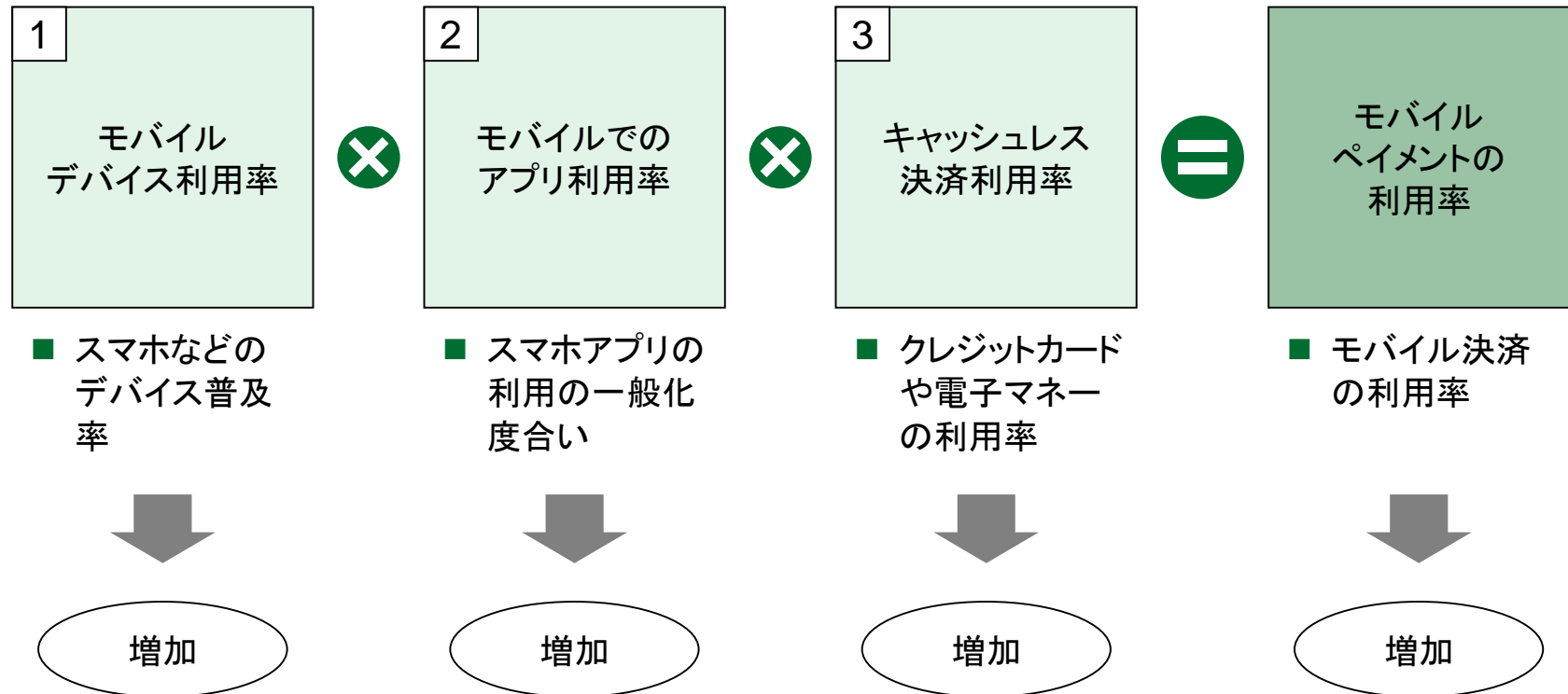
- 友人に送金する際にスマホで送金



なぜモバイルペイメントが普及しているのか？

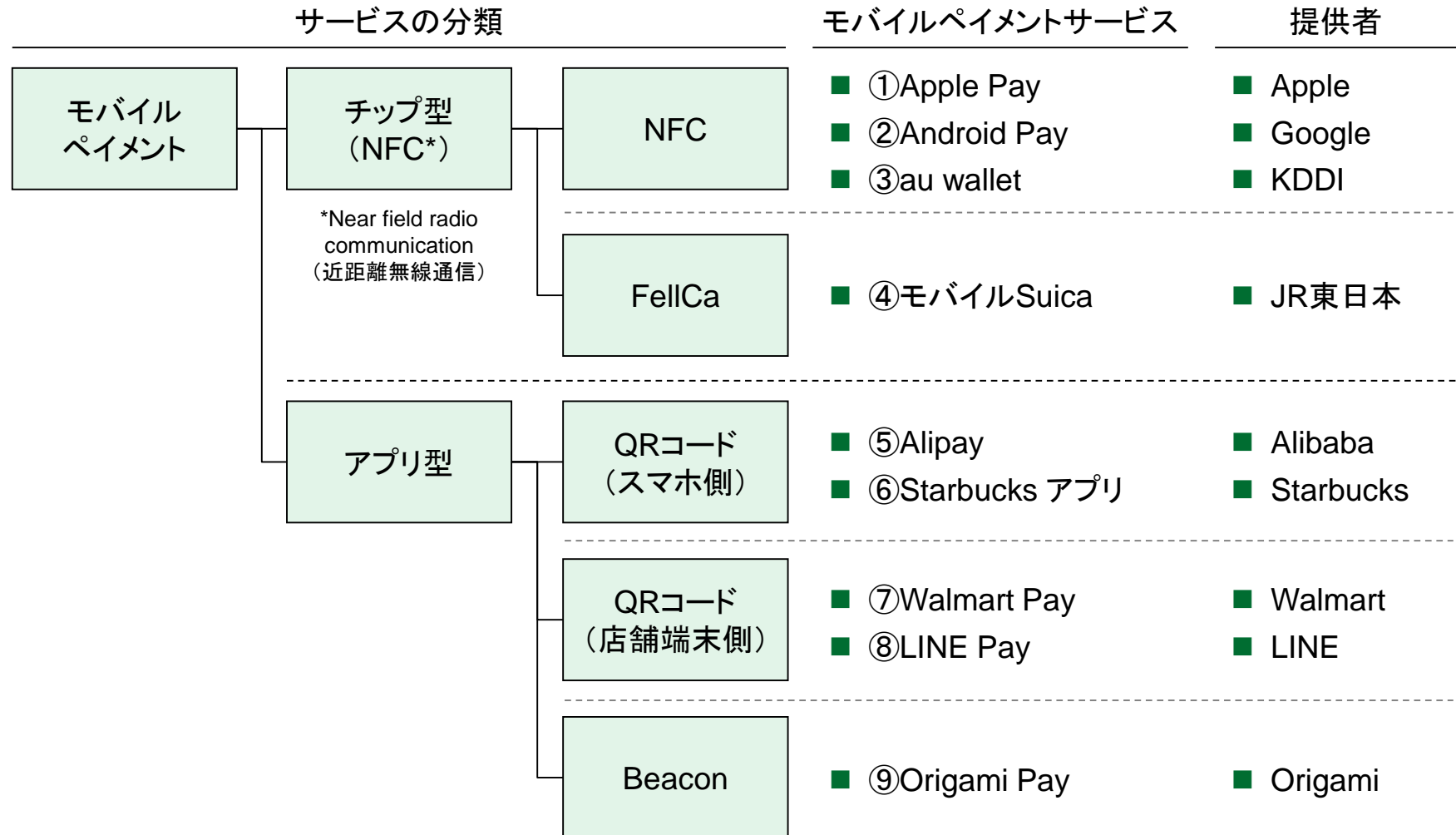
- 電子化にともなうキャッシュレス決済の増加
 - ①モバイルデバイスの消費者への普及と利用頻度増加
 - ②モバイルセキュリティや利便性の向上
 - ③電子マネーやクレジットカードの乱立、利用拡大

モバイルペイメントの利用率の増減を図る枠組み



モバイルペイメントの分類と参入企業

- モバイルペイメントサービスはデータ伝送方式の違いにより2種類に分けられる
 - チップ型: 近距離無線通信を用いてデータを伝送する方式
 - アプリ型: アプリケーションにより、インターネット回線を用いてデータを伝送する方式



SAMPLE版はここまでです。

続きは、業界チャンネル 特集レポート にてご覧ください。

特集レポート一覧はこちら ▶

“業界チャンネル 特集レポート”とは、

経営コンサルタントの目線で特に伸びているビジネスに注目して分析。
その成功の鍵や今後に関及し、「打ち手」を導出します。

